【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和5年6月5日(2023.6.5)

【公開番号】特開2022-28771(P2022-28771A)
【公開日】令和4年2月16日(2022.2.16)
【年通号数】公開公報(特許)2022-028
【出願番号】特願2021-183283(P2021-183283)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ 27/00(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 27/36(2006.01)
Ｂ２８Ｂ 1/30(2006.01)
Ｈ０１Ｇ 4/30(2006.01)
Ｈ０１Ｇ 13/00(2013.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ 27/00 Ｌ
Ｂ３２Ｂ 27/36
Ｂ２８Ｂ 1/30 １０１
Ｈ０１Ｇ 4/30 ５１７
Ｈ０１Ｇ 4/30 ３１１Ｚ
Ｈ０１Ｇ 13/00 ３５１Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月26日(2023.5.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポリエステルフィルムを基材とし、前記基材の一方の表面を形成している層を表面層Ａとし、他の一方の表面を形成している層を表面層Ｂとするとき、前記表面層Ａに直接、離型層が積層された離型フィルムであって、
前記離型層と表面層Ｂを接触させて、５０℃雰囲気下、１０ｋＰａの圧力下で４８時間保持した後、前記離型層と前記表面層Ｂを剥離した際の離型層の帯電量が±５ｋＶ以下であり、
前記表面層Ｂの領域表面平均粗さ（Ｓａ）は、１～４０ｎｍであり、
表面層Ａ及び表面層Ｂの表面に帯電防止層が設けられておらず、表面層Ａ及び表面層Ｂが帯電防止剤を含有しておらず、
前記離型層は、離型層形成用組成物を硬化してなるものであり
前記離型層形成用組成物は、離型剤としてカルボキシル基を有するポリオルガノシロキサンを含み、
離型剤の使用量が離型層中の０．０５－５質量％であり
前記離型層形成用組成物は、メラミン系化合物を含み、
前記メラミン系化合物の重量平均重合度が１．０を超え１．７以下である
セラミックグリーンシート製造用離型フィルム。
【請求項２】
前記離型層と前記表面層Ｂを重ね合わせた時の静摩擦係数μｓが０．３０未満である請求項１に記載のセラミックグリーンシート製造用離型フィルム。

【請求項３】
前記セラミックグリーンシートは、０．２μｍ～１．０μｍの厚みを有する、請求項１に記載のセラミックグリーンシート製造用離型フィルム。
【請求項４】
前記離型層形成用組成物が帯電防止剤を含有しておらず、
前記メラミン系化合物の前記離型層中の含有率が前記離型層形成用組成物の固形分に対し８０質量％以上である請求項１に記載のセラミックグリーンシート製造用離型フィルム。
【請求項５】
前記メラミン系化合物の重量平均分子量が４００以上１０００以下である請求項１に記載のセラミックグリーンシート製造用離型フィルム。
【請求項６】
表面層Ａが無機粒子を実質的に含有していない請求項１に記載のセラミックグリーンシート製造用離型フィルム。
【請求項７】
表面層Ｂが粒子を含有し、前記粒子の少なくとも一部がシリカ粒子及び／又は炭酸カルシウム粒子であり、表面層Ｂの質量に対する粒子の合計含有率が５０００～１５０００ｐｐｍである請求項１に記載のセラミックグリーンシート製造用離型フィルム。
【請求項８】
請求項１～７のいずれかに記載のセラミックグリーンシート製造用離型フィルムを用いてセラミックグリーンシートを成型するセラミックグリーンシートの製造方法であって、成型されたセラミックグリーンシートが０．２μｍ～１．０μｍの厚みを有するセラミックグリーンシートの製造方法。
【請求項９】
請求項８に記載のセラミックグリーンシートの製造方法を採用するセラミックコンデンサの製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１０】
（参考例９）
メラミン系化合物をフルエーテル型メチル化メラミン（三和ケミカル製、商品名：ニカラックＭＷ－３９０、重量平均重合度１．０、主成分がヘキサメトキシメチルメラミン）に変更した以外は、実施例１と同様にして超薄層セラミックグリーンシート製造用離型フィルムを得た。なお、表１Ａおよび１Ｃにおいても、「実施例９」を「参考例９」と読み替える。